清流ニューズ

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164

平成二十五年度総祈願

日序上人御十七回忌報恩御奉公成就
教化必成・教務員増加・報恩御有志目標達成完納成就
羽村別院改修成就之御願
佛立菩薩増加・助行運動推進
役中後継者養成・法灯相続促進

八月の御総講日

一日　十時　御修行日
七日　十時　バースデー総講
日序上人報恩祈念
十三日　十時　高祖御命日
十七日　十時　開導御命日
廿五日　十時　門祖御命日

於清流寺

十二日　十時　高祖御逮夜
十六日　十時　開導御逮夜
廿四日　十時　門祖御逮夜
三十日　十時　歓尊御命日

於羽村別院

会議

一日　御総講後　役中会議
廿五日　御総講後　教区長会議
午後二時　参事会

七月廿一日　御正当会式
絶好の好天のおはからいの下
盛大に奉修される

猛暑の続いたこの夏、七月廿一日、午前十時三十分より本年度の御正当会式が、好天のお計らいを頂き、盛大に奉修された。

熊本・山鹿市・鹿本寺御高職・松田日晃上人をお迎えし、随伴参詣もいただいた。

当日は、真夏にもかかわらず、朝から涼風が吹いて絶好の御会式日和であった。

奉修お導師の御法門

御教歌

なすわざはよかれあしかれ
　むくふべし
火はあたたかに
　水はつめたし

のご教歌をひかれ、仏教は因果の道理を説かれ、因である功徳を積むことによって果である、徳を身につけることができるのです。

善因善果、悪因悪果でこの道理はなに人たりともものがれることはできません。

自分の過去はどうであったか、それは現在の相にあらわれていますし、自分の未来を案じた場合には現在の行いが未来を決めることになりますので、未来によい果報をいただくためにも、今、しっかりと信行ご奉公が肝心であるとお諭し下さった。

今回は、宗務総長・木村日覚導師（遠妙寺御高職）をお迎えし開催されます。

殊に、中央布教区の教化必成口唱会も併せて修まることになりました。

現在は、『佛立開花運動』の真っ最中です。一人でも多く教化の花が咲かせることのできるように、布教区管内の全寺院が総力をあげることになっています。

当山としても、先住日序上人の報恩ご奉公が掲げられておりますから、なお一層の奮起がのぞまれるところです。

そのためにも大勢が促進大会に参加し教化誓願者それぞれが、熱祷をささげ、満堂の教講の御経力をいただいて、〝教化〟の火を燃えたぎらせるような口唱会にのぞみましょう！

予告　後期弘通促進大会
九月十五日　於常住寺
口唱会も併修

中央布教区後期弘通促進大会は、来る九月十五日（日）王子・常住寺に於て開催されます。

朝参詣強調週間
八月二日～六日
第三、第四連合

八月の月初め朝参詣は、二日より六日まで、第三、第四連合が担当です。

八月二日（金）国分寺教区
三日（土）小平教区
四日（日）東村山教区
五日（月）小金井教区
六日（火）昭島教区

全教区とも、教化必成を目標に朝参詣に気張りましょう。

予告　九月八日　十時
長寿特別総講
長寿の集い開催

今年の長寿特別総講は九月八日（日）にバースデー総講に併修して開催されます。

年に一度の〝長寿の祝い〟をお寺をあげて盛り上げることになっています。

当日のプログラムは三面にのせてありますが、今から楽しみにしていて下さい。

本月の御妙判

止暇断眠

我が門家は夜は眠りを断ち昼は暇を止めて之を案ぜよ。一生空しく過して万歳悔ゆること勿れ。（富木殿御書）

我が門家というのは御弟子旦那という事で、つまり、弟子と信者一同という事であります。

〝之を案ずる〟というのは、末法に於ける唯一の成仏の法たる上行所傳のお題目の御信心をさせて頂くという事であります。この御信心という事は、弟子の信心、信者の信心と別ではなく、少しも軽重の差はないので、一括して我が門家と仰せられたのであります。この御信心をさせて頂くことによって、どれだけの果報があるかと申しますと、薬王品に

〝所得ノ福徳ハ無量無辺ナリ。火モ焼クコト能ハズ。水モ漂ハスコト能ハズ。汝ノ功徳ハ千仏共ニ説ケドモ尽スコト能ハズ〟

と説かれてあります如く、〝汝〟と仰せられてあるのが出家も、在家もという事になるのであります。〝一生空しく過ごす〟というのは、御信者としてトカク日々の御信心が懈怠勝ちになることであります。この御妙判は恐らく、釈尊がいよいよ御入滅になるとき弟子たちを戒めて、

「昼ハ即チ勤メテ善法ヲ修習シテ時ヲ失セシムルコトナカレ。初夜ニモ後夜ニモ亦廃スルコトナカレ。中夜ニハ経ヲ誦シテ以テ自ラ消息セヨ一生空シク過ギテ得ル所無カラシムコトナカレ。」

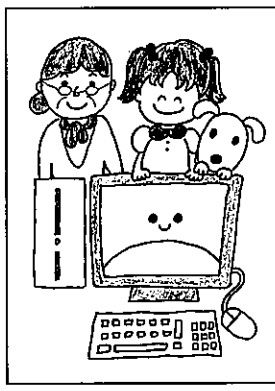
と、仰せられたのをお祖師様流に示されたものでありましょう。

〝生レル事難シ〟という人身を得〝値フ事難シ〟というこの尊い御法にお出値したお互いに対し開導聖人は

いきている日数の中のけふの日を
　いたづらならぬ様に暮せよ

と御教歌下されてあるのであります。

日々の口唱信行がいささかでも怠り勝ちになっては一生空しく暮らすという事になりますから、あとから後悔のないよう平らな御信心が肝要です。



清流寺のホームページを開設しました!!
アクセスお待ちしております。
アドレス
http://seiryuji.jpn.org/

日序上人御十七回忌報恩ご奉公
御有志奉納者氏名（その四十六）
（教区順。敬称略。順不同）
二十五年七月十六日現在
合計　七一六名、一，四四〇口